

小山市渡良瀬遊水地観光地化推進5カ年計画 ～エコ・アグリツーリズムの推進～【概要版】

(1) 計画策定の目的と位置付け

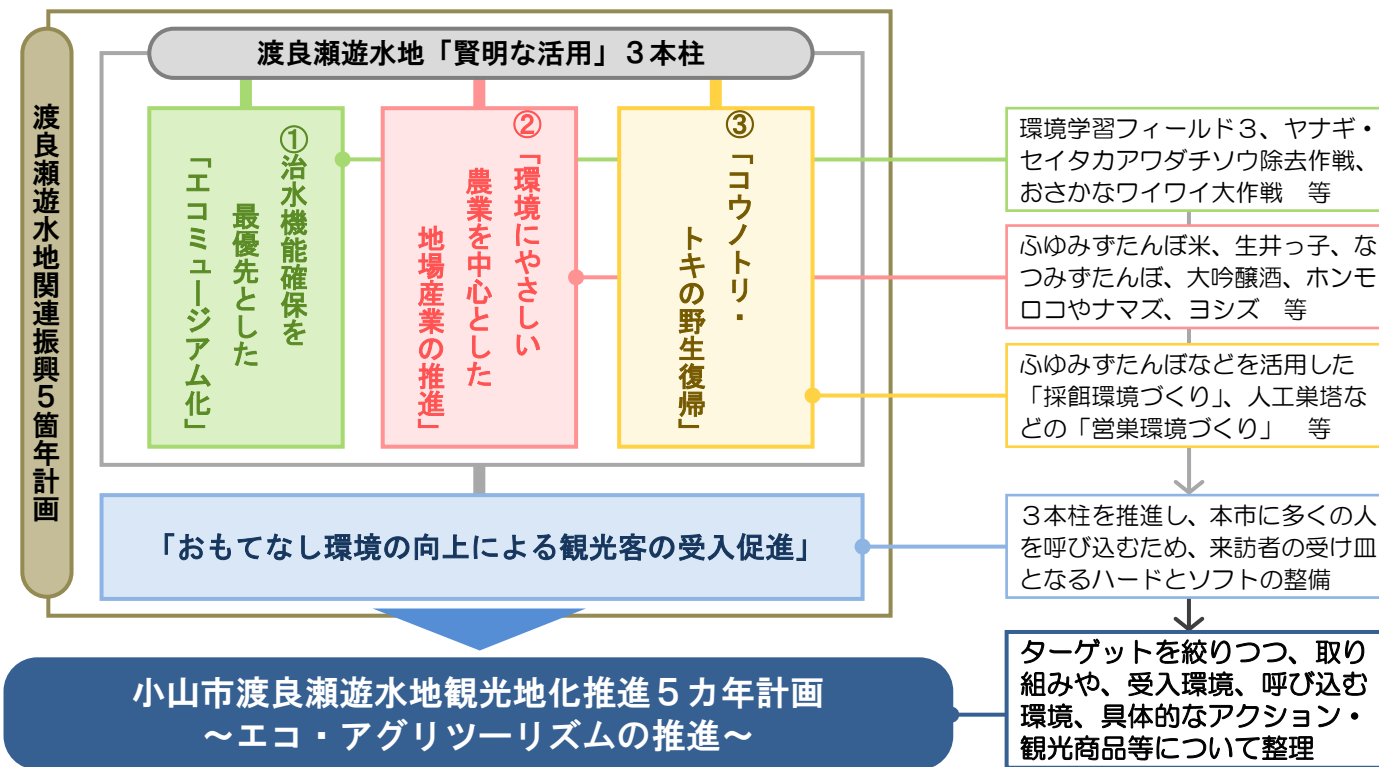
目的

渡良瀬遊水地は、2012年7月3日に世界のラムサール条約湿地登録され、2014年に策定した「渡良瀬遊水地関連振興5箇年計画（2014～2018）」をもとに、「地方創生の目玉」として、第1に、治水機能確保を最優先としたエコミュージアム化、第2に、環境にやさしい農業を中心とした地場産業の推進、第3に、コウノトリ・トキの野生復帰の「賢明な活用の3本柱」を推進しています。

一方本計画は、人口減少時代に即応した交流人口の増大やインバウンドの推進を踏まえ、渡良瀬遊水地周辺とその関連地域の自然環境や伝統文化、地場産業等数多くの魅力をわかりやすく伝え、渡良瀬遊水地周辺地域に多くの人を呼び込み観光地化を図ることを目的としています。

位置付け

本計画は、「渡良瀬遊水地関連振興5箇年計画」の施策・事業を踏まえ、特に、「おもてなし環境の向上による観光客の受入促進」について、ターゲットを絞りながら、取り組みや、受入環境、呼び込む環境、具体的なアクション・観光商品等について整理した計画です。



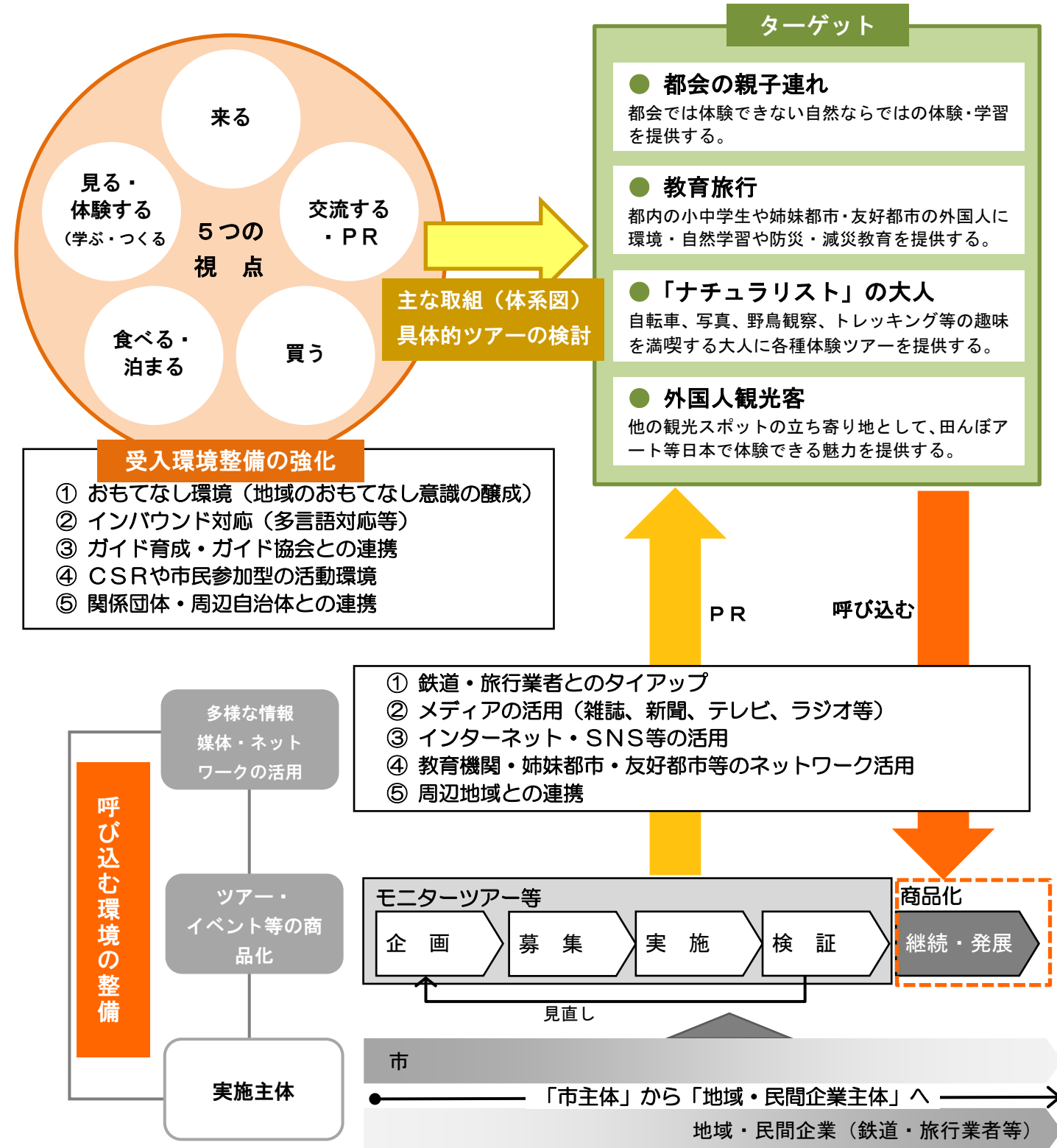
(2) 計画期間

(2017年)	(2018年)	(2019年)	(2020年)	(2021年)	(2022年)
プレDC	栃木 DESTINY ナーション キャンペーン (DC)	アフターDC	東京オリンピック・パラリンピック	プレ国体	第77回国民体育大会 (いちご一会とちぎ国体)
各種重点的な取組・受入態勢整備・PR活動等の推進					

(3) 計画の概要

本計画は、渡良瀬遊水地において、多くの人を呼び込み観光地化を図る上で、現況・課題を整理し、「来る」「見る・体験する(学ぶ・つくる)」「食べる・泊まる」「買う」「交流する・PR」の5つの視点を設定しました。これら5つの視点から主な取組事業を整理(体系図)しています。

また、対象となるターゲットを「都会の親子連れ」「教育旅行」「「ナチュラリスト」の大人」「外国人観光客」の4つに絞り、その受入環境を強化し、渡良瀬遊水地の自然環境や伝統文化、地場産業を季節ごとにまとめた「渡良瀬遊水地周辺地域歳時記」等を活用して、時代に即した情報発信・PR手段(呼び込む環境)の強化を図り、エコ・アグリツアーを積極的に推進する計画です。



小山市渡良瀬遊水地観光地化推進5カ年計画 ～エコ・アグリツーリズムの推進～【概要版】

体系図

視点	施策項目	主な取り組み
1 来る	1-1 ネットワークの形成	1-1-1 アクセスルート及び周辺道路整備 1-1-2 サイクリングロード・フットパスの整備・活用 1-1-3 駐輪場・駐車場の確保 1-1-4 フラワーロード整備 1-1-5 デマンドバス、公共交通の活用（駅等からの二次交通） 1-1-6 レンタサイクル・シェアサイクル活用、サイクルステーション設置 1-1-7 サイン整備（ルート案内板デザイン統一等）
	1-2 観光拠点の形成	1-2-1 エコミュージアムの整備① 1-2-2 コウノトリ・トキの野生復帰（営巣環境採餌環境の整備）①③ 1-2-3 旧思川水辺公園の活用 1-2-4 乙女河岸周辺広場の活用
2 見る・体験する（学ぶ・つくる）	2-1 自然の再生・景観の形成	2-1-1 湿地保全活動の推進 ①② 2-1-2 ビューポイント整備（絶景・展望ポイントづくり）①②③
	2-2 アクティビティの充実	2-2-1 エコツーリズムの推進（ガイドツアー、周遊コース等）①③ 2-2-2 トレッキング・バードウォッチング ② 2-2-3 サイクリング・ツーリング ② 2-2-4 遊び場の創出 ① 2-2-5 伝統文化体験や農業体験 ① 2-2-6 生産体験プログラムの提供（米・野菜等収穫体験）①
	2-3 学習環境の充実	2-3-1 環境学習の場の提供 ① 2-3-2 小ロー記念館 ①② 2-3-3 昆虫標本の活用
3 食べる・泊まる	3-1 食・泊場所の充実	3-1-1 ラムサールふゆみずたんぼ米・生井っ子の生産・PR ② 3-1-2 ラムサールホンモロコ・ナマズの養殖 ① 3-1-3 おやまブランド・郷土料理の提供 ①② 3-1-4 農泊・民泊（空き家の活用）等の多様な宿泊環境の充実 ②③
4 買う	4-1 特産物の商品化	4-1-1 ヨシ活用製品の商品化 ② 4-1-2 桑の葉・実及び繭を使用した土産物の販売 ② 4-1-3 商品開発・販売環境の充実 ②③
5 交流する	5-1 交流・イベントの充実	5-1-1 自然学習研修・体験・交流施設の整備検①②③ 5-1-2 季節・年間の各種イベント充実（ヨシ焼き、思川桜、田んぼアート、ふゆみずたんぼオーナー制、ツール・ド・おやま、おやま思川ざくらマラソン等）①②③ 5-1-3 周辺市町の観光拠点との交流・ネットワーク
	5-2 PR・情報の発信	5-2-1 PR活動の展開（イベント開催、姉妹都市・民間企業等とのタイアップ等）①②③ 5-2-2 インターネット等多様な情報媒体の活用（HP、SNS等）①②③ 5-2-3 DC（デスティネーションキャンペーン）の活用①②③

※渡良瀬遊水地関連振興5箇年計画「賢明な活用」3本柱での位置付け

- ①：治水機能確保を最優先とした「エコミュージアム化」
- ②：「環境にやさしい農業を中心とした地場産業の推進」
- ③：「コウノトリ・トキの野生復帰」

（4）渡良瀬遊水地周辺地域歳時記

地元食材を活用した食事、農泊・民泊を活用した宿泊、地元販売店でのお土産等の購入を基本としつつ、受入環境や呼び込み環境を強化し、ターゲット別・季節別に観光商品化を行いながら、「渡良瀬遊水地周辺地域歳時記」により、エコ・アグリツアーを積極的に推進します。

1月 	2月 	3月 
寒川地区の花桶かつぎ	白鳥地区の日の出祭り	ヨシ焼き
4月 	5月 	6月 
生井桜まつり	おさかなワイワイ大作戦	田んぼアート田植え体験
7月 	8月 	9月 
おやまサマーフェスティバル	つばめのねぐら入り	田んぼアート稲刈り
10月 	11月 	12月 
ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦	ツールドおやま（サイクリングイベント）	伝統工芸を知る！ヨシ刈り体験